

<日経平均> 最近の日経平均はドル円・NYダウなど他の指標のパッケージとなっている。

現在のサイクル位相: PCの16週目、第三MCの3週目、初期上昇波から戻り売りへ

NYダウとドル円の2市場のサイクル周期とアニバーサリーを複合的に判断する。

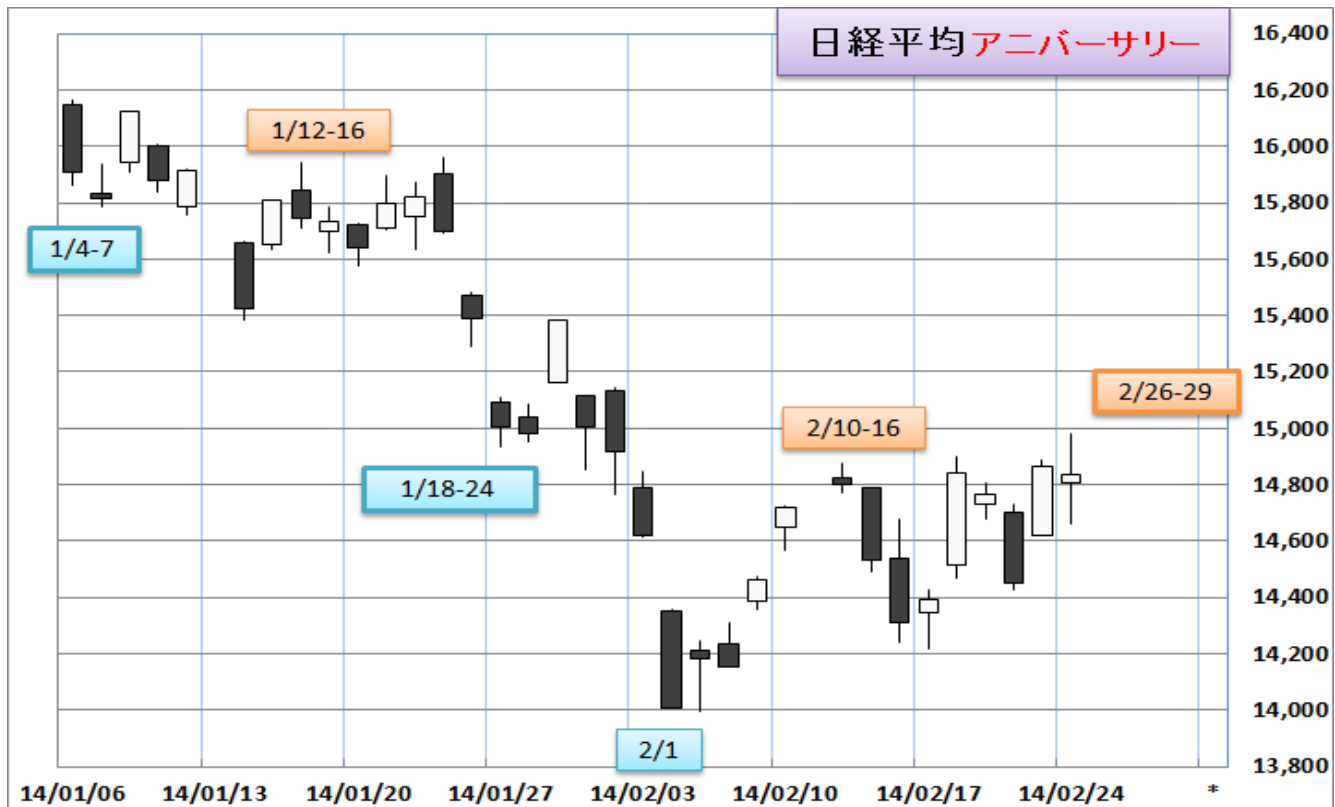
第一MCはトライアングルから一旦下方ブレイクしたが、大納会・大発会天井バイアスによって、12/16にボトムを形成して急反発。第二MCは12/26アニバーサリー(12/30高値16320.22円)でPCToppを形成し、1/4-7の重要アニバーサリーで急落した。

PC上昇波は20-30%の上昇余力があり、11/08の安値14026.17円を起点とする上昇ターゲットを16830~18230円に想定していたが、第二MCの起点(15146.13円)を下回ったため、サイクル形状的にはPCToppは12/30の高値16320.22円(PC上昇率は16.4%)となる。

第二MCボトム形成過程においては、PC起点である14026.17円を大幅にブレイクする可能性は低く、2/4時点で微妙に割り込んだが完全ブレイクには至らなかった。

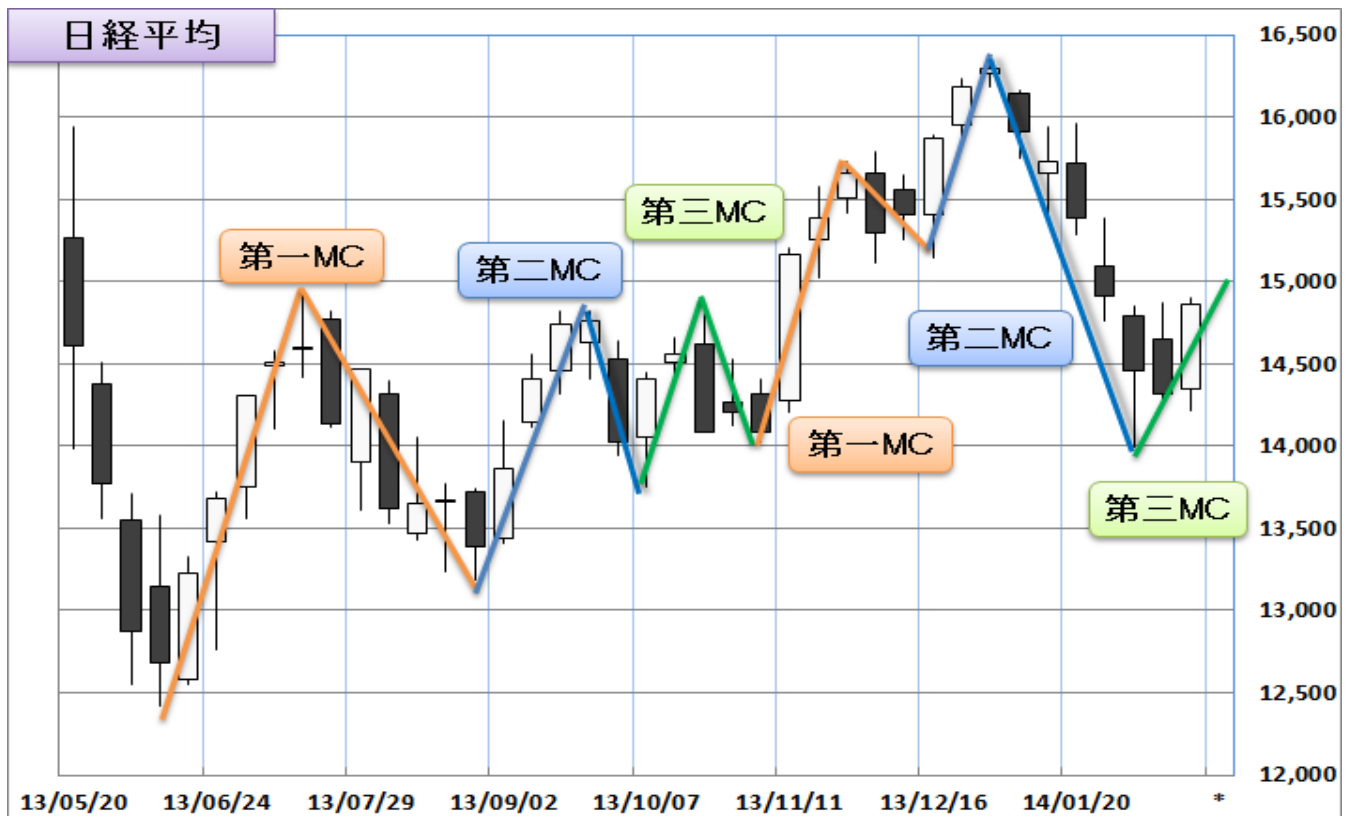
第三MCは戻り売りパターンからPCボトムを形成するシナリオ。第一上昇波では2/10-16アニバーサリーにおける戻り売り戦略が有効であった。更に第二上昇波も戻り売りとなるため、2/26-29の重要アニバーサリーはMCToppターゲット&逆張り売りのタイミングとなる。

日経平均	は2013年に強力だったアニバーサリー ◎は歴史的アニバーサリーで重要な時間帯		
◎ 1月4-7日		1月12-16日	◎ 1月18-24日
2月1日	2月10-16日	◎ 2月26-29日	
◎ 3月5-11日	3月21日	◎ 3月27-30日	



<1>

当レポートで提供しているアニバーサリーは、相場の転換点を的確に捉えることを目的として作成したものであり、有価証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。当レポートは、当社が信頼できると判断した資料およびデータ等に基づき作成しておりますが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、将来の投資成果や市場環境を保証するものではありません。投資決定にあたっては、投資家ご自身の判断でなされますようお願いいたします。



13/10/14	14,510.27	14,664.22	14,415.76	14,561.54	↓	18	第三MC	1
13/10/21	14,624.03	14,799.28	14,088.19	14,088.19	↓	19	↓	2
13/10/28	14,261.65	14,526.88	14,126.41	14,201.57	↓	20	↓	3
13/11/04	14,319.75	14,407.69	14,026.17	14,086.80	↓	21	↓	4
13/11/11	14,271.48	15,203.11	14,208.13	15,165.92	PC	1	第一MC	1
13/11/18	15,253.24	15,579.39	15,020.33	15,381.72	↓	2	↓	2
13/11/25	15,504.78	15,729.09	15,414.52	15,661.87	↓	3	↓	3
14/12/02	15,659.74	15,794.15	15,112.54	15,299.86	↓	4	↓	4
13/12/09	15,556.60	15,650.21	15,251.45	15,403.11	↓	5	↓	5
13/12/16	15,408.35	15,891.82	15,146.13	15,870.42	↓	6	↓	6
13/12/23	15,955.90	16,232.69	15,849.00	16,178.94	↓	7	第二MC	1
14/12/30	16,269.22	16,320.22	16,182.71	16,291.31	↓	8	↓	2
14/01/06	16,147.54	16,164.01	15,754.70	15,912.06	↓	9	↓	3
14/01/13	15,657.20	15,941.08	15,383.69	15,734.46	↓	10	↓	4
14/01/20	15,724.14	15,958.58	15,288.32	15,391.56	↓	11	↓	5
14/01/27	15,091.45	15,383.91	14,764.57	14,914.53	↓	12	↓	6
14/02/03	14,788.56	14,846.93	13,995.86	14,462.41	↓	13	↓	7
14/02/10	14,647.83	14,874.79	14,243.17	14,313.03	↓	14	第三MC	1
14/02/17	14,343.73	14,900.24	14,214.60	14,865.67	↓	15	↓	2
14/02/24					↓	16	↓	3

Date Open High Low Close  
 日経平均 PC: 16(13~19)週 MC: 6週前後

〈2〉

当レポートで提供しているアニバーサリーは、相場の転換点を的確に捉えることを目的として作成したものであり、有価証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。当レポートは、当社が信頼できると判断した資料およびデータ等に基づき作成しておりますが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、将来の投資成果や市場環境を保証するものではありません。投資決定にあたっては、投資家ご自身の判断でなされますようお願いいたします。

<ドル円> サイクルの波長が持続するため、アニバーサリーが交互に出にくい傾向がある。

現在のサイクル位相： 新PCの3週目、第一MCの3週目、初期上昇波

ドル円のPC・MCはターゲットレンジが広く、歪な動きをすることが多い。

アニバーサリーでは歴史的な重要アニバーサリーと前年強力だったアニバーサリーを重視する。

第三MC初期上昇波は 12/3 高値を更新後、年初まではアニバーサリーがなかったため、第三MCトップ形成過程として上昇バイアスが持続した。突出した高値(円安)を形成するパターンとなり、歴史的に強力な 1/3 前後のアニバーサリーでPC&第三MCToppを形成した。

1/11 アニバーサリーは戻り売り、1/17-20 の重要アニバーサリーは 1/14 安値 102.88 で急反発した。第三MC14週目での反転は 9~17週のMCボトムとしては平均的な水準であったが、1/2 高値 105.44 を早期に更新できず、再び戻り売りパターンを形成し、1/14 安値 102.88 を更新した。

2/5 重要アニバーサリー(2/4 安値 100.86)はPCボトム候補である。2/12-14 アニバーサリーまでの反転後、緩やかな押し(円高基調)を経過して 2/18 に急反発した。早期安値更新によるPCボトム延長の可能性はほぼ消滅しているため、27-28 アニバーサリーまでは上昇波が持続しやすい。

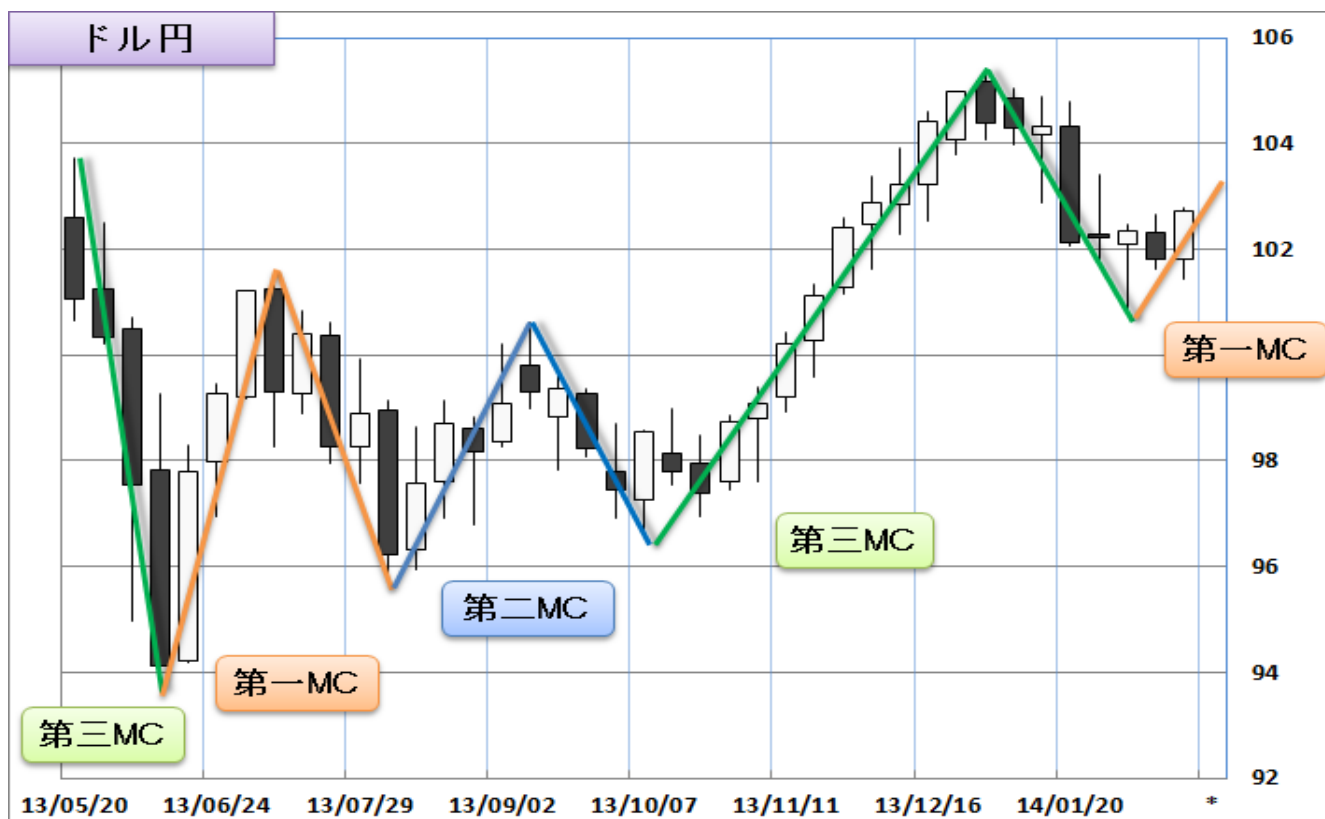
ドル円 は2013年に強力だったアニバーサリー  
◎・○は重要度

◎ 1月3日前後	1月11日	○ 1月17-20日		
◎ 2月5日	2月12-14日	2月27-28日		
○ 3月8-9日	◎ 3月14-17日	3月22-25日		



### <3>

当レポートで提供しているアニバーサリーは、相場の転換点を的確に捉えることを目的として作成したものであり、有価証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。当レポートは、当社が信頼できると判断した資料およびデータ等に基づき作成しておりますが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、将来の投資成果や市場環境を保証するものではありません。投資決定にあたっては、投資家ご自身の判断でなされますようお願いいたします。



13/10/14	98.15	99.00	97.55	97.80	↓	18	第三MC	1
13/10/21	97.94	98.47	96.94	97.40	↓	19	↓	2
13/10/28	97.60	98.85	97.44	98.75	↓	20	↓	3
13/11/04	98.79	99.41	97.62	99.09	↓	21	↓	4
13/11/11	99.20	100.43	98.92	100.20	↓	22	↓	5
13/11/18	100.26	101.35	99.57	101.13	↓	23	↓	6
13/11/25	101.28	102.61	101.14	102.42	↓	24	↓	7
14/12/02	102.48	103.37	101.62	102.89	↓	25	↓	8
13/12/09	102.85	103.92	102.28	103.22	↓	26	↓	9
13/12/16	103.22	104.60	102.55	104.43	↓	27	↓	10
13/12/23	104.09	105.00	103.80	104.97	↓	28	↓	11
14/12/30	105.17	105.44	104.08	104.40	↓	29	↓	12
14/01/06	104.85	105.06	103.97	104.29	↓	30	↓	13
14/01/13	104.17	104.89	102.88	104.33	↓	31	↓	14
14/01/20	104.33	104.80	102.08	102.14	↓	32	↓	15
14/01/27	102.27	103.42	101.81	102.22	↓	33	↓	16
14/02/03	102.11	102.48	100.86	102.34	↓	34	↓	17
14/02/10	102.33	102.67	101.61	101.81	PC	1	第一MC	1
14/02/17	101.82	102.79	101.44	102.73	↓	2	↓	2
14/02/24					↓	3	↓	3

Date Open High Low Close  
ドル円 PC: 33(26~40)週 MC:11.5(9~17)週

#### <4>

当レポートで提供しているアニバーサリーは、相場の転換点を的確に捉えることを目的として作成したものであり、有価証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。当レポートは、当社が信頼できると判断した資料およびデータ等に基づき作成しておりますが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、将来の投資成果や市場環境を保証するものではありません。投資決定にあたっては、投資家ご自身の判断でなされますようお願いいたします。

<ユーロドル> ユーロドルは細かいアニバーサリーが存在するが、適合性が高い

現在のサイクル位相：新PCの3週目、第一MCの3週目、PC初期上昇波

サブシナリオ：PCの16週目、第二MCの3週目、MC初期上昇波

ユーロドルに関しては、細かく高値・安値に分類している。高値安値が逆転して出現する場合もあるが、重要度の高いアニバーサリーはトレンドの反転タイミングである。

PCの最終サイクルである第三MC上昇波は12/18のユーロ高重要アニバーサリーで一旦下落したが、12/27に急反発し、12/27高値1.3864でPC&MCトップを形成した。

1/10-13のユーロ安重要アニバーサリーをターゲットとする下落は1/9安値1.3556で一旦反転。その後1/20に1.3510で安値を形成し、1/23に急反発した。ユーロ高重要アニバーサリー2/1-2まで上昇バイアスが持続したが、その時間帯が転換点となり、1/30から大幅に下落して安値を更新した。しかし2/6の反転により、2/7-8のユーロ安重要アニバーサリー(2/3安値1.3481)でPCボトム(サブシナリオでは第一MCボトム)が形成された。

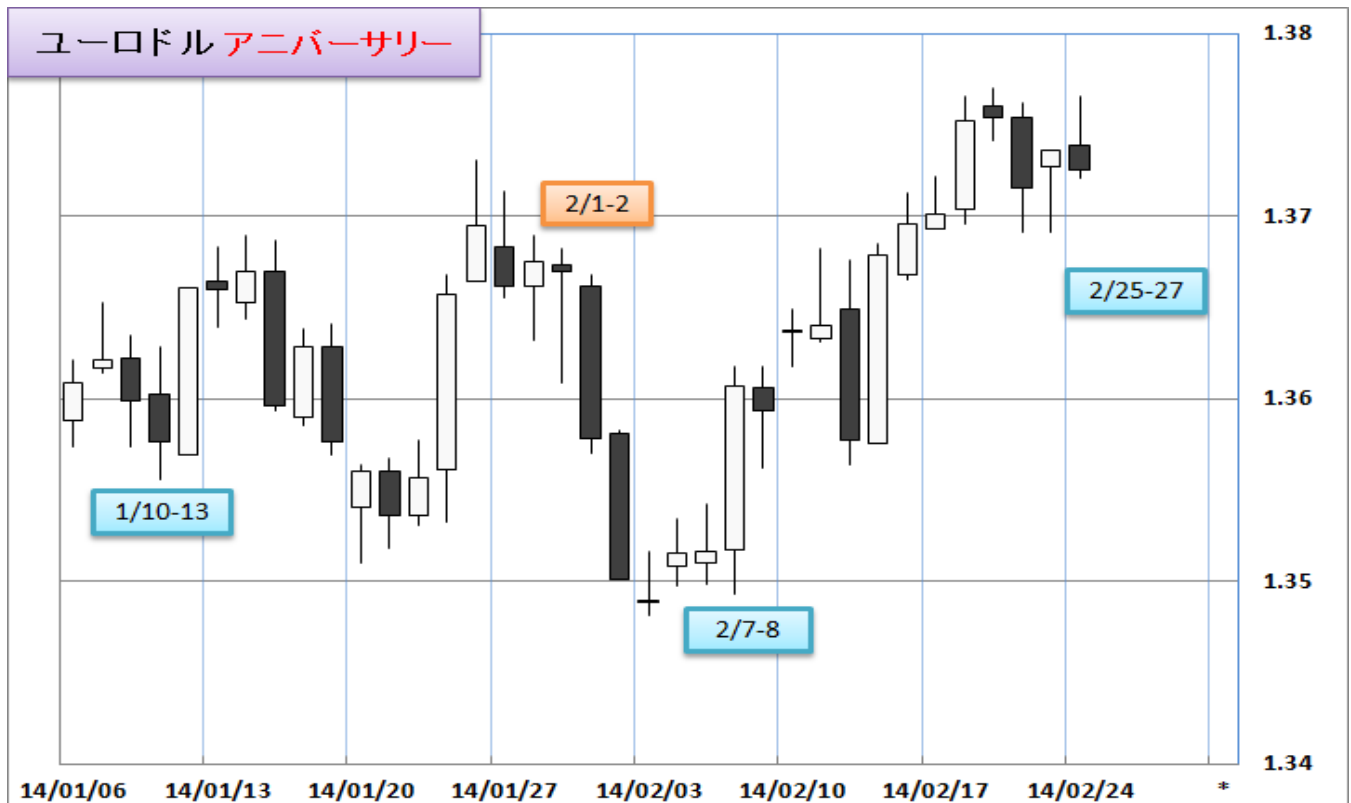
新PC&第一MC初期上昇波として、平均的には5-8週目(2月末~3月中旬)がMCトップターゲットである。2/25-27のユーロ安重要アニバーサリーで押し目を形成し、再度上昇波持続へ。

ユーロ高値(ドル安値) (は2013年に強力だったアニバーサリー  
◎は特に重要と思われるアニバーサリー)

◎ 1月5-7日	◎ 1月10-13日	1月25-26日	
◎ 2月1-2日	2月11日	2月19日	2月23-24日
◎ 3月6-11日	◎ 3月17-19日		3月31日

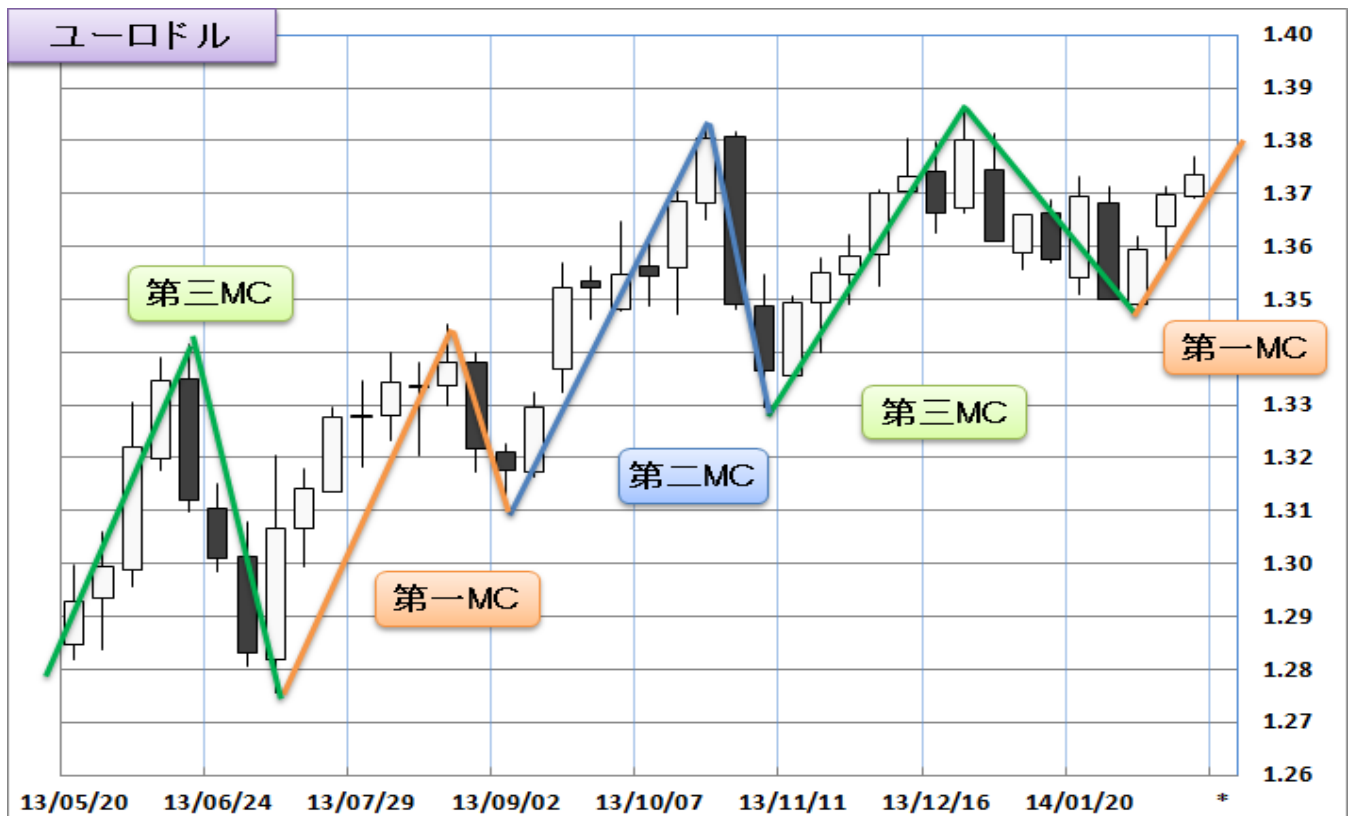
ユーロ安値(ドル高値) (は2013年に強力だったアニバーサリー  
◎は特に重要と思われるアニバーサリー)

	◎ 1月10-13日	1月22-23日	◎ 1月31-2月2日
◎ 2月7-8日		2月14日	◎ 2月25-27日
3月2-5日	3月7日		3月20-29日



<5>

当レポートで提供しているアニバーサリーは、相場の転換点を的確に捉えることを目的として作成したものであり、有価証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。当レポートは、当社が信頼できると判断した資料およびデータ等に基づき作成しておりますが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、将来の投資成果や市場環境を保証するものではありません。投資決定にあたっては、投資家ご自身の判断でなされますようお願いいたします。



13/10/14	1.3560	1.3704	1.3473	1.3684	↓	14	↓	6				
13/10/21	1.3683	1.3832	1.3651	1.3803	↓	15	↓	7				
13/10/28	1.3807	1.3817	1.3480	1.3489	↓	16	↓	8				
13/11/04	1.3487	1.3547	1.3295	1.3365	↓	17	↓	9				
13/11/11	1.3356	1.3505	1.3345	1.3492	↓	18	第三MC	1	新PC	1	第一-MC	1
13/11/18	1.3495	1.3578	1.3399	1.3549	↓	19	↓	2	↓	2	↓	2
13/11/25	1.3547	1.3621	1.3490	1.3580	↓	20	↓	3	↓	3	↓	3
14/12/02	1.3586	1.3706	1.3524	1.3700	↓	21	↓	4	↓	4	↓	4
13/12/09	1.3704	1.3803	1.3696	1.3733	↓	22	↓	5	↓	5	↓	5
13/12/16	1.3741	1.3799	1.3626	1.3663	↓	23	↓	6	↓	6	↓	6
13/12/23	1.3672	1.3864	1.3662	1.3801	↓	24	↓	7	↓	7	↓	7
14/12/30	1.3745	1.3815	1.3609	1.3609	↓	25	↓	8	↓	8	↓	8
14/01/06	1.3588	1.3661	1.3556	1.3661	↓	26	↓	9	↓	9	↓	9
14/01/13	1.3664	1.3689	1.3569	1.3576	↓	27	↓	10	↓	10	↓	10
14/01/20	1.3540	1.3731	1.3510	1.3695	↓	28	↓	11	↓	11	↓	11
14/01/27	1.3683	1.3714	1.3501	1.3501	↓	29	↓	12	↓	12	↓	12
14/02/03	1.3489	1.3618	1.3481	1.3593	↓	30	↓	13	↓	13	↓	13
14/02/10	1.3637	1.3713	1.3564	1.3696	PC	1	第一-MC	1	↓	14	第二-MC	1
14/02/17	1.3693	1.3770	1.3691	1.3736	↓	2	↓	2	↓	15	↓	2
14/02/24					↓	3	↓	3	↓	16	↓	3

Date Open High Low Close  
ユーロドル PC・MCはドル円周期より、短めに推移している

### <6>

当レポートで提供しているアニバーサリーは、相場の転換点を的確に捉えることを目的として作成したものであり、有価証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。当レポートは、当社が信頼できると判断した資料およびデータ等に基づき作成しておりますが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、将来の投資成果や市場環境を保証するものではありません。投資決定にあたっては、投資家ご自身の判断でなされますようお願いいたします。

<NYダウ> NYダウはマザーマーケットであり、トレンド・サイクルとも判断しやすい。

現在のサイクル位相：25週サイクル(25WC)の11週目、第二MCの3週目、MC初期上昇波

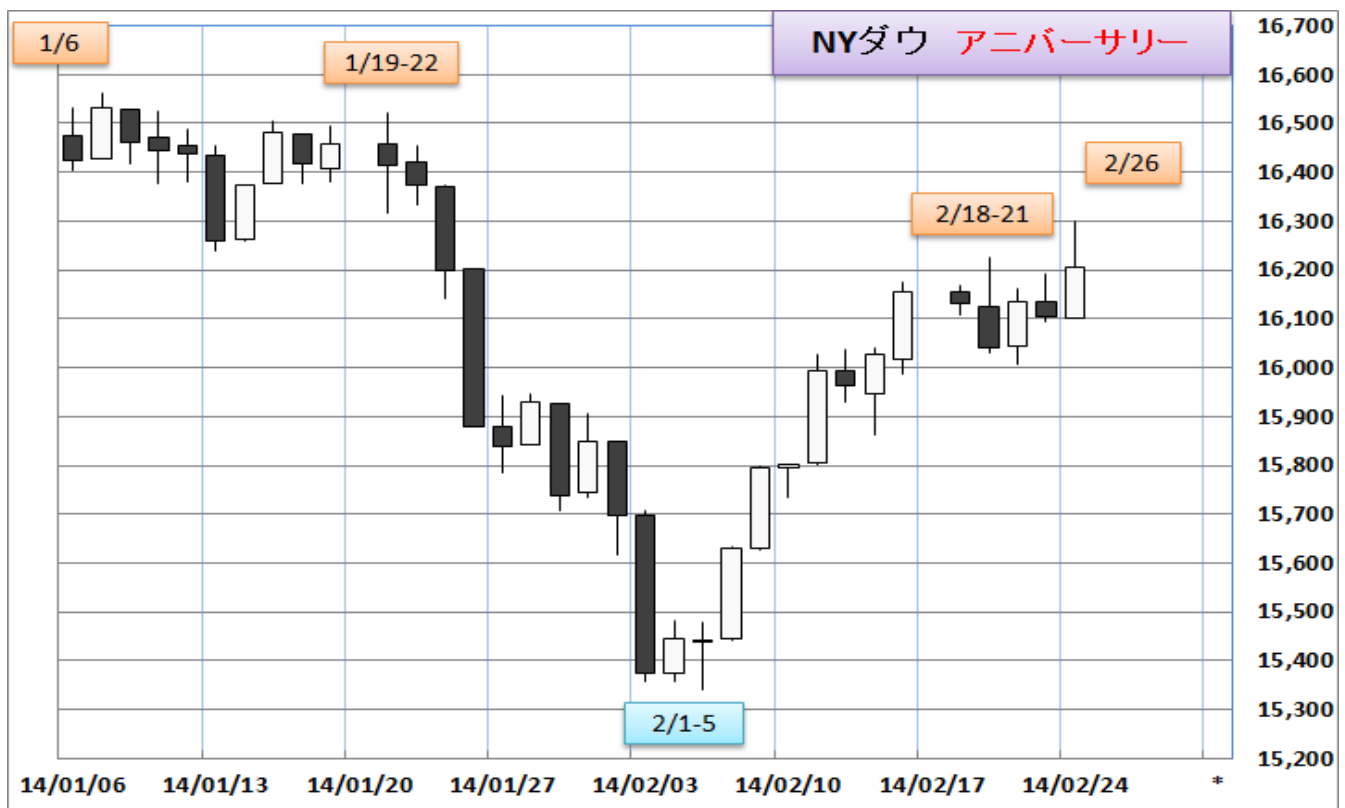
トレンドが持続する傾向があるため、アニバーサリーは2段階の時間ターゲットとして活用する。

22週目で第三MC&25WCトップを形成。25WCボトムとしては時間経過が短いため12/9で戻り売りとなったが、最終的には12/8-11アニバーサリー(12/9安値15703.79)でボトムを形成し、新25WC&第一MCに移行した。第一MC初期上昇波は12/19アニバーサリーで加速し、1/6アニバーサリー(12/30高値・1/2急落)でMCトップを形成した。1/13に下方ブレイクし、翌日からリバウンドしたが、1/13安値16240.60は5週目で押しが浅く、MCボトム形成としては不十分であったため、1/19-22アニバーサリーは戻り売り(ダブルトップ)となった。

チャートポイントである1/13の直近安値をブレイクして大幅下落、MCボトム形成過程に入っていたが、2/1-5アニバーサリー(2/5安値)で急反発し、第二MCとして上昇波が持続している。しかし、第一MC&25WC起点の15703.79をブレイクしているため、25WCは下落サイクルフォーメーション(25WCボトムで最安値形成)となる。したがって、第二MC上昇波は時間的にも価格的にも小さくなる傾向があり、戻り売り相場が形成される。2/26アニバーサリー前後が反転ターゲット。

NYダウ は2013年に強力だったアニバーサリー

1月6日	1月19-22日		
2月1-5日	2月18-21日	2月26日	
3月6-10日	3月14-17日	3月22-27日	



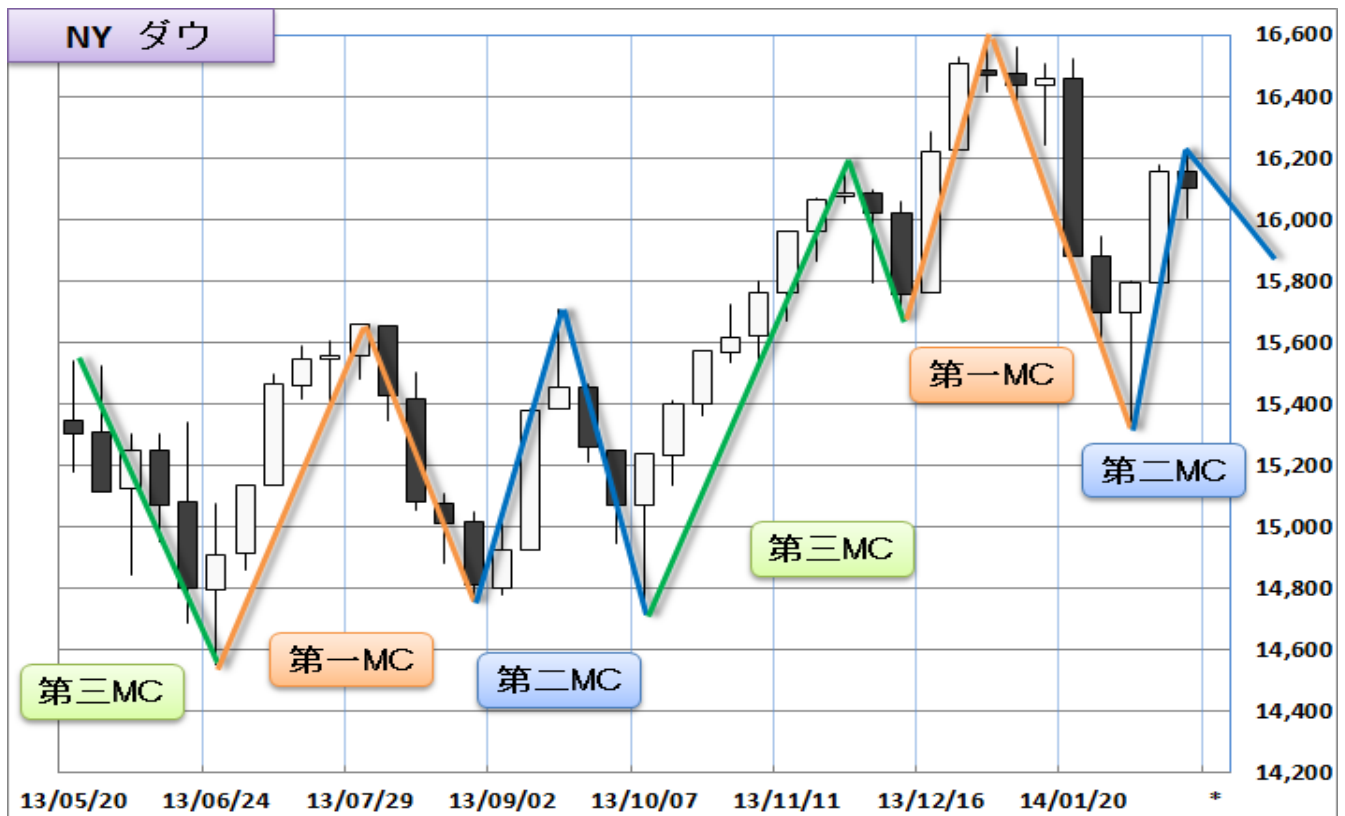
<7>

当レポートで提供しているアニバーサリーは、相場の転換点を的確に捉えることを目的として作成したものであり、有価証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。当レポートは、当社が信頼できると判断した資料およびデータ等に基づき作成しておりますが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、将来の投資成果や市場環境を保証するものではありません。投資決定にあたっては、投資家ご自身の判断でなされますようお願いいたします。

# アニバーサリー戦略

2014/02/25

MAX VALUE <http://www.max-value.co.jp>



13/10/14	15,231.33	15,412.97	15,136.38	15,399.65	↓	16	第三MC	1
13/10/21	15,401.32	15,570.60	15,362.66	15,570.28	↓	17	↓	2
13/10/28	15,569.19	15,721.00	15,533.48	15,615.55	↓	18	↓	3
13/11/04	15,621.20	15,797.68	15,522.18	15,761.78	↓	19	↓	4
13/11/11	15,759.28	15,962.98	15,672.00	15,961.70	↓	20	↓	5
13/11/18	15,962.72	16,068.78	15,865.37	16,064.77	↓	21	↓	6
13/11/25	16,072.09	16,174.51	16,055.46	16,086.41	↓	22	↓	7
14/12/02	16,087.12	16,098.00	15,791.29	16,020.20	↓	23	↓	8
13/12/09	16,019.49	16,058.40	15,703.79	15,755.36	↓	24	↓	9
13/12/16	15,759.60	16,287.84	15,759.60	16,221.14	25週C	1	第一MC	1
13/12/23	16,225.25	16,529.01	16,225.25	16,504.29	↓	2	↓	2
14/12/30	16,484.51	16,588.25	16,416.49	16,469.99	↓	3	↓	3
14/01/06	16,474.04	16,562.32	16,378.61	16,437.05	↓	4	↓	4
14/01/13	16,434.03	16,505.28	16,240.60	16,458.56	↓	5	↓	5
14/01/20	16,459.27	16,520.60	15,879.11	15,879.11	↓	6	↓	6
14/01/27	15,879.05	15,945.89	15,617.55	15,698.85	↓	7	↓	7
14/02/03	15,697.69	15,798.51	15,340.69	15,794.08	↓	8	↓	8
14/02/10	15,793.63	16,175.55	15,733.69	16,154.39	↓	9	第二MC	1
14/02/17	16,153.97	16,225.72	16,006.59	16,103.30	↓	10	↓	2
14/02/24					↓	11	↓	3

Date Open High Low Close

NYダウ PC: 17(13~21)週:メインは25週サイクル MC: 6週前後

<8>

当レポートで提供しているアニバーサリーは、相場の転換点を的確に捉えることを目的として作成したものであり、有価証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。当レポートは、当社が信頼できると判断した資料およびデータ等に基づき作成しておりますが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、将来の投資成果や市場環境を保証するものではありません。投資決定にあたっては、投資家ご自身の判断でなされますようお願いいたします。



＜金＞ 金相場はアニバーサリーが明確に出るため、国際資金フローとしての指標となる。

現在のサイクル位相：新PCの 8 週目、第一MCの 8 週目、MCトップ形成の最終時間帯

アニバーサリーが明確に出る傾向があり、交互に高値安値を繰り返している。

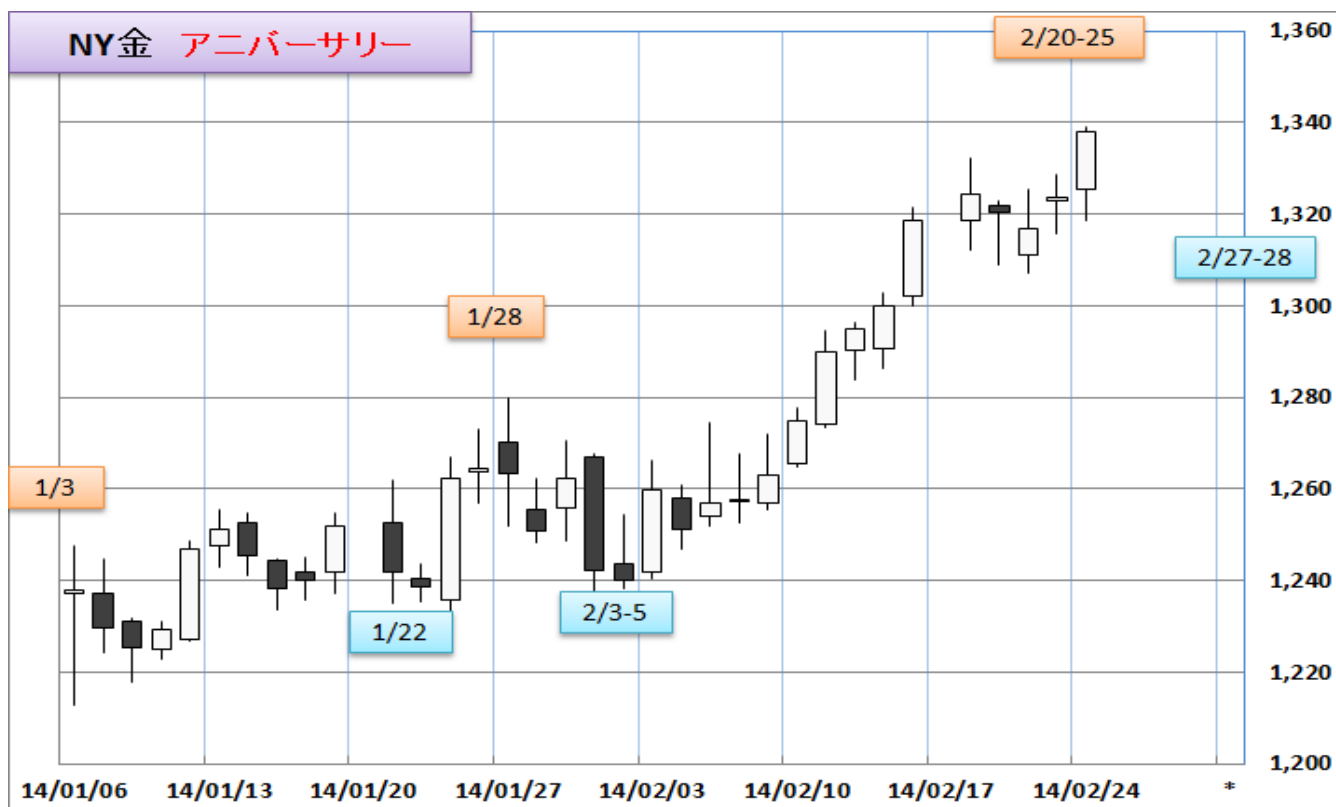
PCボトムは最終サイクルで延長傾向があるため、12/2-8 アニバーサリー（12/6 安値 1210.1）でリバウンドしたが、12/12 の大幅下落により、ボトム形成局面としては不安定な状況が継続した。

12/31 安値 1181.4 からの 3 連騰は値幅を伴っているため、PCボトム形成のシグナルである。1/3 ターゲットに上昇し、押し目形成後 12/6 高値 1248.5 を突破。1/22 アニバーサリーで一旦反転したが、早期に（2 日後の 1/23 に）高値を更新した。

その後 2/3-5 アニバーサリーをターゲットに下落したが、再度 2/11 に高値を更新して第一MC上昇波は持続している。2/20-25 アニバーサリーをターゲットに上昇が持続しているが、今週からはMCトップ形成の最終時間帯に入るため、逆張り売りのタイミングである。ただし、第一MCの 8 週目に入り、MC上昇時間（平均 6 週前後）を経過しているため、MCボトム形成時間はMCトップから 1-2 週程度となる。したがって、下落しても 2/27-28 か 3/3、延長しても 3/10 アニバーサリーまでがMCボトムの時間帯となる。

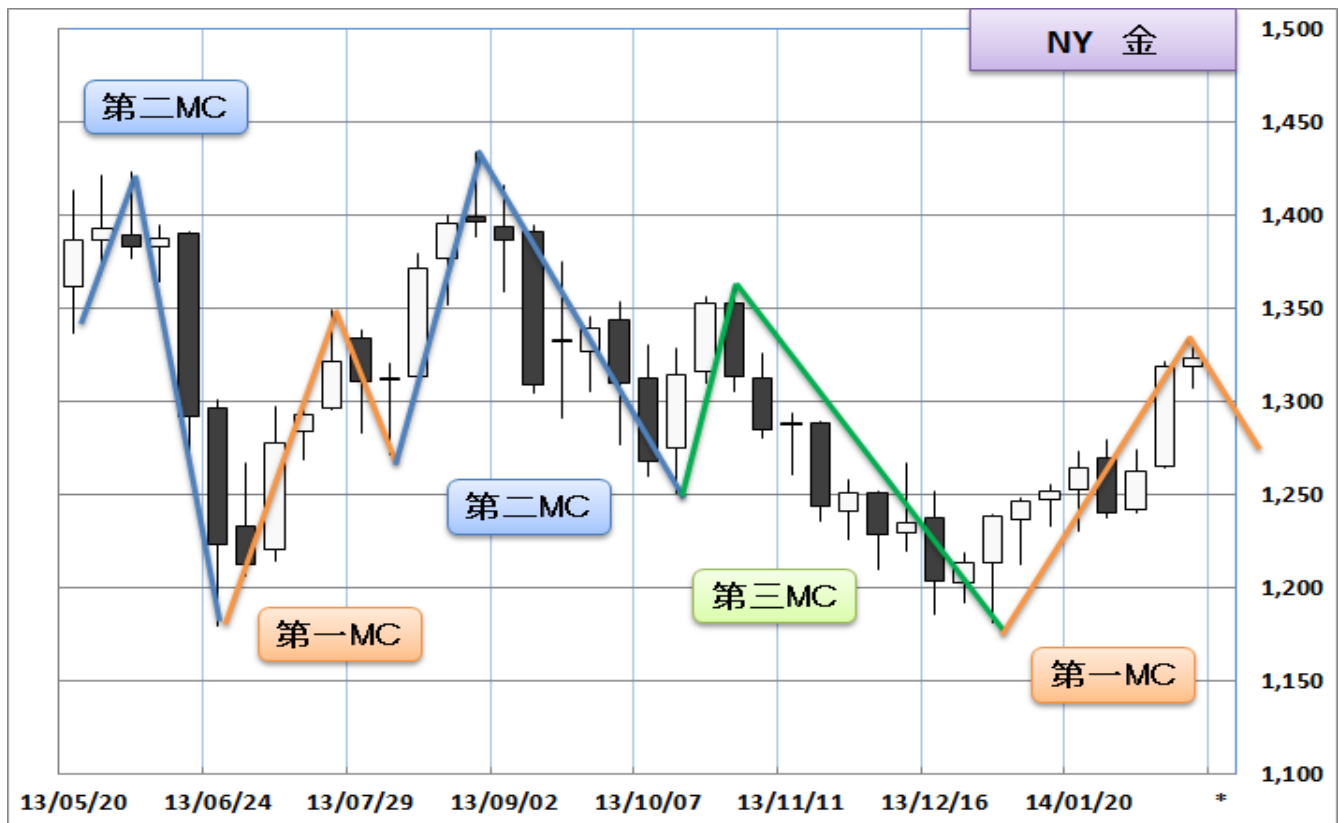
金 は2013年に強力だったアニバーサリー

1月3日	1月22日	1月28日	
2月3-5日	2月20-25日	2月27-28日	
3月3日	3月10日	3月17-21日	3月24日



### ＜9＞

当レポートで提供しているアニバーサリーは、相場の転換点を的確に捉えることを目的として作成したものであり、有価証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。当レポートは、当社が信頼できると判断した資料およびデータ等に基づき作成しておりますが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、将来の投資成果や市場環境を保証するものではありません。投資決定にあたっては、投資家ご自身の判断でなされますようお願いいたします。



13/10/14	1,275.5	1,328.9	1,251.0	1,314.6	↓	16	↓	10
13/10/21	1,316.0	1,356.4	1,309.5	1,352.5	↓	17	第三MC	1
13/10/28	1,352.7	1,361.8	1,305.6	1,313.2	↓	18	↓	2
13/11/04	1,313.0	1,326.0	1,280.5	1,284.6	↓	19	↓	3
13/11/11	1,288.3	1,293.8	1,260.5	1,287.4	↓	20	↓	4
13/11/18	1,288.9	1,289.2	1,235.8	1,244.1	↓	21	↓	5
13/11/25	1,241.6	1,257.8	1,225.7	1,250.6	↓	22	↓	6
14/12/02	1,250.6	1,251.5	1,210.1	1,229.0	↓	23	↓	7
13/12/09	1,229.9	1,267.5	1,219.5	1,234.6	↓	24	↓	8
13/12/16	1,237.3	1,251.7	1,186.0	1,203.7	↓	25	↓	9
13/12/23	1,202.5	1,218.9	1,191.8	1,214.0	↓	26	↓	10
14/12/30	1,213.8	1,239.6	1,181.4	1,238.6	↓	27	↓	11
14/01/06	1,237.0	1,248.5	1,212.6	1,246.9	PC	1	第一MC	1
14/01/13	1,247.7	1,255.3	1,233.5	1,251.9	↓	2	↓	2
14/01/20	1,252.5	1,273.2	1,230.8	1,264.3	↓	3	↓	3
14/01/27	1,270.1	1,279.8	1,237.5	1,240.1	↓	4	↓	4
14/02/03	1,242.0	1,274.5	1,240.4	1,262.9	↓	5	↓	5
14/02/10	1,265.4	1,321.5	1,264.7	1,318.6	↓	6	↓	6
14/02/17	1,318.6	1,332.4	1,307.1	1,323.6	↓	7	↓	7
14/02/24					↓	8	↓	8

NY金 PC: 18(15~21)週 MC: 6週前後  
 Date Open High Low Close

<10>

当レポートで提供しているアニバーサリーは、相場の転換点を的確に捉えることを目的として作成したものであり、有価証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。当レポートは、当社が信頼できると判断した資料およびデータ等に基づき作成しておりますが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、将来の投資成果や市場環境を保証するものではありません。投資決定にあたっては、投資家ご自身の判断でなされますようお願いいたします。